

## 令和元年度 「評定の範囲」について

### 1. 「評定の範囲」とは

各中学校における生徒の年度末評定が妥当性・信頼性の高いものであるかどうかを判断するため、チャレンジテストの結果を活用し、府教育委員会が示す得点の範囲のこと。

※例：第1学年の国語において「評定3」と評価されている生徒のチャレンジテストの得点が「評定の範囲」である86点から30点の間であれば、その生徒の評価は妥当かつ信頼できるものとする。

### 2. 作成方法

各教科（選択問題においては選択問題ごと）の評定ごとに、チャレンジテストの得点の分布を統計の手法によって処理し、分布内の約95%を「評定の範囲」とする。

### 3. 「評定の範囲」

#### <中学校第1学年>

	評定5	評定4	評定3	評定2	評定1
国語	100～67 (93～76)	97～52 (85～63)	86～30 (72～44)	68～10 (53～24)	53～0 (39～11)
数学	100～51 (87～64)	85～32 (72～46)	65～12 (52～26)	43～2 (32～12)	28～0 (21～6)
英語	100～56 (91～68)	90～37 (77～51)	73～19 (60～33)	52～10 (41～21)	43～0 (34～15)

#### <中学校第2学年>

	評定5	評定4	評定3	評定2	評定1
国語	100～47 (79～58)	82～36 (70～47)	69～20 (57～33)	54～7 (42～19)	46～0 (34～11)
社会A	100～47 (84～59)	81～33 (69～45)	66～17 (54～29)	49～7 (38～18)	41～0 (31～13)
社会B	100～48 (84～60)	83～31 (70～45)	69～15 (55～29)	50～6 (39～17)	36～0 (28～13)
数学	100～65 (95～75)	97～45 (84～58)	81～20 (65～36)	56～2 (42～16)	39～0 (28～7)
理科A	100～47 (85～60)	83～29 (69～42)	64～12 (50～25)	45～4 (34～15)	37～0 (28～10)
理科B	100～50 (87～63)	84～33 (71～46)	66～14 (53～27)	47～4 (36～15)	37～0 (28～11)
英語	100～60 (93～71)	95～37 (80～52)	76～15 (60～31)	50～6 (39～17)	40～0 (31～13)

※（ ）内は、当該評定の範囲の中で、得点の平均値の上下約35%の生徒が存在する範囲